

一般質問

川下
議員

○情報インフラ整備について

質 インターネットの光回線を整備していかうとする、いわゆる情報インフラ整備をすることによって、できるようなること、また、それによって市民の生活や仕事にどのような影響があるのか質問します。

福祉事務所長 障害をお持ちで通勤が困難な方が、会社や事業所に行くことなく、ウェブ制作とかネット内職等の在宅での就労が可能になり、業務の範囲が広がるのではないかと考えます。

農林課長 システム活用による農作業の効率化、省力化。また、施設栽培において環境を制御することで生産性が向上し収益の改善につながる。さらに、栽培技術を数値化しデータを蓄積することで、後継者や新規就農者へノウハウを伝えることができます。さらに生産履歴情報を記録・活用することで消費者への食材への信頼性を向上させることができると思います。

商工観光課長 観光施設等にWi-Fiなどを設置することができ、より多くの観光情報の取得が可能になります。また、I・J・Uターンの移住

者による創業で最も多い分野のITビジネスの企業がありますが、その分野での創業の可能性が広がります。**企業立地課長** 企業誘致に必要な条件が一つ整うことになります。民間企業としては大容量のデータの送受信時間短縮、テレビ電話等の会議による仕事効率の向上などが考えられます。

都市計画課長 情報インフラとして大容量の高速情報通信網が整備されれば、例えば空き家の活用という観点から、古民家などを活用して都会の企業のサテライトオフィスを誘致するということが可能になり、また仕事と生活の調和、特に健康で豊かな生活のための時間が確保される社会、また多様な働き方が選択できる社会の実現のために必要であると考えます。

質 これだけ縦にも横にも幅広く市民と松浦市の将来に影響がある施策はめったにありません。情報インフラ整備の実施について市長の決断を求めます。

市長 松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げておりますとおりこの情報インフラ整備につきましては地方創生を図る上で大変重要な施策だと思っています。まず、平成29年度において情報インフラ整備の実施計画を策定したいと考えているところでです。

一般質問

徳田
議員

○原子力発電および防災について

質 佐賀県は事前了解、長崎県は事前説明となっている。協定書と覚え書を一体として見たときに十分補っていると言えますか。

防災課長 伊万里市の覚書と比較したときに、九州電力へ意見を述べるができるという意味において、補っていると考えます。

質 新聞報道で市長と議長が松浦市2か所での説明会開催を求めたとあり、12月議会で福島町を含めた3か所以上での開催を要望したが、何故2か所にしたのか。

防災課長 基本的に1か所での開催のところを、松浦市の地域的な特性を考慮していただきたいとお願いして2か所になりました。

質 伊万里市長は、市内13か所の公民館での説明会を求めています。福島町からは松浦市内まで40分も50分もかかる。松浦市も市内5か所の公民館と福島町での説明会開催を要望するべきではないか。

防災課長 3月15、16日の会場での状況を見た上で検討します。

質 福島原子力発電所の事故以来、火力発電と自然・再生エネルギー等

で維持できた。再稼働しなければ松浦火力発電所の重要性が増すが。危険な原子力発電をやめ、他のエネルギーによる発電へ変えるべき度と思うが市長はどう考えるか。

市長 エネルギー政策については、国策であるので、国がどう対応されるかは見守ってまいりたいと思います。

○松浦市公共交通網整備について

質 3月3日まで松浦市地域交通網形成計画のパブリックコメントが行われたが目的や目標は何か。

企業立地課長 目的は、誰でもが便利に移動できる持続可能な公共交通ネットワークの実現です。目標は、第1に効率的で利便性の高い公共交通ネットワークの維持。第2に交通弱者の日常の交通手段として交通不便地区の解消。第3に路線の効率化と利用促進による経営基盤の安定化を図る、以上3項目を掲げております。

質 福島地区のバスの交通網はどのようなになるか。利便性の向上を図って欲しいが、交通空白地帯対策はどのように考えているか。

企業立地課長 福島島内を巡回する循環バスは、通学時間以外はほとんど利用がない状況になっておりますので、鷹島と同様のデマンド型の乗り合いタクシー導入ができないか考えています。